



図書館だより

さいたま市立つばさ小学校 図書館

2学期もつばさ小学校図書館の新しいルールを守りながら読書を楽しみましょう。

図書館の新しいルール

☆ 学年ごとに、休み時間に図書館を利用できる曜日が決まっています。

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
業間休み	休館	3年生	5年生	6年生	4年生
昼休み	休館	3年生	5年生	6年生	4年生

★ 1・2年生は、図書の時間です。

☆ 図書館では、休み時間の読書はできません。(貸出と返却のみ)

☆ 借りた本は、家に持ち帰らず、教室で読みます。

☆ 図書館に入る前に手指の消毒をします。



新しい本のコーナー

絵本や物語の本、毎日の生活に役立つ本、想像することを楽しむ本、歴史を知る本、未来を考える本など、新しい本がたくさん届きました！ブックトラックに注目してください。





ほん しょうかい おすすめの本を紹介します。



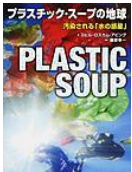
『日本の怖い妖怪』
ほるぷ出版
らまつなほりに かんしゅう
小松和彦/監修

昔の人は、天変地異や不思議なできごとを妖怪のしわざと考えていた。妖怪を通して、日本の歴史や民族について学べる。「疫病退散」祈願として、今話題の「アマビエ」も紹介されている。



『リアルサイズ 古生物図鑑 中生代』
技術評論社
ちゅうこういち
土屋健/著

もし、人間と恐竜が共存していたら……。現代の私たちの生活の中に紛れ込んだ古生物は、どんな大きさなんだろう。未知のサイズ感を実感できる図鑑。



『プラスチック・スープの地球』
ポプラ社
ミビル・ロスカム・アピング/著

プラスチックは、私たちの生活の中でさまざまな形で利用されている。水に溶けず、腐ることもないその便利な特性が、人間に大きな恩恵をもたらしたが、それ以上に地球に大きなダメージを与えている。今、私たちはどうしたらいいのかを考える本。



『プログラミングガールズ!』
偕成社
ステイシア・ドイツ/作

プログラミングクラブに入部したルーシーのもとに、「プログラミングを学びたいなら、わたしのいうことをぜんぶやれ」という謎の手紙が届く。アメリカの学校生活を舞台にした物語を楽しみながら、「プログラミング」の考え方を自然に理解できる本。



『真夜中の妖精』
あかね書房
あかね書房
湯湯/作

中国の小さな村に住む7歳の少女トゥートルは、お芝居を見るのが大好き。池のほとりのやなぎの木の上でお芝居見物をしていると、妖精や仙人に出会う。ふしぎな友だちとのふしぎな時を描く幼年童話。



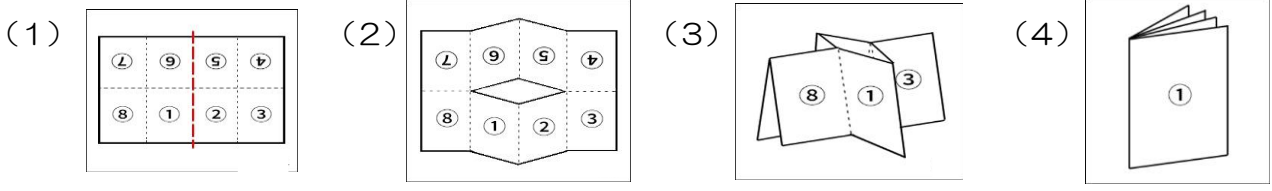
『いのちはめぐる』
童心社
しんせいしゃ
嶋田康子/文
佐藤真紀子/絵

すべての生きものは、食べものがないと生きられない。チョウはカマキリに、カマキリはカエルに、カエルはカラスに……生きものは食べて、食べられて生きている。命のつながりを描く絵本。



て えほん つく 手づくり絵本を作ってみませんか？

いちまい かみ お じぶん えほん 一枚の紙を折るだけで自分だけの絵本ができます！



- (1) 長方形の用紙を、半分のサイズになるように赤線の部分を山折りにします。もう一度、半分に折り、さらにもう一度、半分に折ります。点線の部分すべてに、折り目をつけます。
 - (2) しっかりと折り目をつけたあと、図の部分をはさみで切ります。
 - (3) ①と②、⑤と⑥をそれぞれつまんで折りたたむと(4)のようになります。
 - (4) ①が表紙、⑧が裏表紙になります。②～⑦にお話と絵を描きましょう。
- ★興味のある人は、図書館に見本がありますので、ぜひ見に来てください。作り方をくわしく説明します！！

